

「聴く」ことについて一緒に考えてみませんか？

ご案内 傾聴セミナー 聴くっ茶

聴くっ茶STEP6

家族の心のケア③
～家族の心に耳を傾ける～

2018.10.27(土) 13:30-15:30

場所: 木山キリスト教会 参加費: 500円

共催: 九州キリスト災害支援センター
災害チャプレン委員会

お問い合わせ: 096-237-6380 (九キ災まで)

5月から月1回のセミナーが続けられています。支援に関わるスタッフや地元の方々に、聴くことについて、実践的・具体的に身につけていただき、災害時だけでなく、普段の生活の中でも実践していくことを目的としています。東日本大震災後の心のケアに関わってこられた臨床心理士であり牧師である災害対応チャプレン岩上真歩子先生が指導してくださっています。



<被災された家族>と<支援者>を愛でつなぐ

LOVEプロジェクト



今回で9回目のプレゼントボックス。リンクファミリーの皆様は各サポートファミリーの皆様の心のこもったプレゼントを毎回楽しみにされています。サポートファミリーのプレゼントに併せて、今回九キ災からは美味しいハニーコーヒーのコーヒーバッグとコーヒーにぴったりのクッキーをお届けさせていただきました。



九州キリスト 災害支援センター

KYUSHU CHRIST DISASTER RELIEF CENTER

2018.10 **15**
No. **15**
Newsletter

キリストにあってひとつ



益城町赤井地区でのひまわり祭り

中長期支援の中に輝くキリスト者としての存在感

九州キリスト災害支援センター 熊本ベースディレクター 諸藤栄一

九キ災は、熊本地震の支援活動からこの2年半、祈りによって支えられ今日まで活動を続けさせていただいています。また、災害発生時には、地域教会そして関係する支援団体と連携を図りながら必要に応じた緊急支援を実施しています。

しかし九キ災は緊急時にのみ特化した団体ではありません。現在、益城町にある5つの仮設団地自治会支援業務を委託され、これまで以上に被災者の方々の近い存在として地域と関わる機会が与えられています。中長期支援に入り、今までは聞くことのできなかった平時に近い形での“心の声”に触れる機会です。この10月で仮設サポートに入り2年が経過します。九キ災だけでなく、地域教会の方々と共に協力しながら、これまで沢山の時間を住民さんと共有してきました。この働きの鍵は、地域教会との連携にあると強く感じています。遠回りしているのではないと言われる方もいるでしょう。もっと早く福音を語るべきだとも言われる方もいるかと思いますが。しかし東北では7年間かけて築いた関係があると聞きました。私たち自身、何か特別なことをしているわけではありません。ですが、住民さん達の心の声に触れる中で気付いたことは、人々はただ一緒にいてくれる誰か、その存在を求めているということです。存在は愛そのものだと思います。時間をかけなければ、寄り添う「存在」になることはできません。

まことに、その人は【主】のおしえを喜びとし、昼も夜もおしえを口ずさむ。
その人は、水路のそばに植わった木のような。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。
その人は、何をしても栄える。 詩篇1:2-3

樹木が時間をかけて根を張り、枝を伸ばし太い幹に成長していくように、この働きも同じことが言えるのではないのでしょうか。小さな木かもしれませんが。しかし神様の時を信じて地域に存在(愛)を示し、支え続けることは私たちの神様に委ねられた使命です。神様に委ねられた働きを喜びとして、地域に根を下ろしお仕えさせていただく中で、向日葵の花のように地域とキリスト者が一つとなって満開に花を咲かせる時が来ることを期待します。

賛助会員 大募集中!!

～認定NPOを目指して

当センターは認定NPOを目指して準備を整えています。認定NPOになると、寄付金の税制優遇などのメリットがあり、継続して災害に対応する組織としての基盤作りが可能となります。まずは、賛助会員200名(現在130名)を目指しています。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

- 年会費：賛助会員
 - (個人) 1口1,000円(1口以上)
 - (団体) 1口3,000円(1口以上)

詳細は九キ災のHPまたは本部事務局まで。

振込口座 NPO法人九州キリスト災害支援センター

- ゆうちょ銀行 / 【記号】17420 【番号】81598531
- ゆうちょ銀行 郵便口座 / 01720-5-169579
※振込手数料が免除となる振込用紙をお送りします。本部事務局までご連絡ください。
- 三菱東京UFJ銀行 / 福岡支店 普通預金 【店番 652】 【口座番号】2613361

※ご送金の際には、九キ災本部事務局までメールか電話でご連絡先をお知らせください。領収書等を後日お送りいたします。

災害支援金にご協力 お願いいたします

「西日本豪雨災害支援金」
「北海道胆振東部地震支援金」
の場合は振替用紙にその旨を記入くださるか、またはメールでその旨をお知らせください。

■ 熊本ベースボランティアセンター

〒861-2242 熊本県上益城郡益城町木山 372-1
TEL. 096-237-6341 FAX. 096-237-6380
E-mail : kcdrcvolunteer@gmail.com

■ 宮崎支部事務局 (霧島キリスト教会内)

〒880-0032 宮崎市霧島2-30
E-mail : 9kisaimiyazaki@gmail.com
http://miyazaki9ki.html.xdomain.jp

九州キリスト災害支援センター 本部事務局

〒814-0155 福岡県福岡市城南区東油山 6-15-9 (油山シャローム教会内)
TEL. & FAX. 092-873-6235
E-mail : kyusyuchristdrc@gmail.com



ホームページQRコード



災害支援ネットワーク

熊本地震
支援

九キ災熊本ベースは、広崎、津森、安永、馬水、惣領の5仮設の自治会運営の常駐サポートを担当しています。仮設の方々の交流の場として「ましきっ茶」「ましキッズ」を定期的で開催しています。

さらに、2018年7月の西日本豪雨の被災地である広島と岡山に九キ災のスタッフを派遣しています。熊本地震での災害支援の経験を生かして、熊本以外の被災地の方々にも仕えています。



韓国ソウルのオンヌリ教会から17名のボランティアが益城町の惣領仮設に来てくれました。韓国の伝統的な音楽の笛の演奏と韓国の音楽グループTWICEの歌とダンスを披露してくれました。

言葉を越えて届けられる支援

韓国伝統料理の“キンパ”作り



シンガポールよりタッチインターナショナルチームがボランティアとして参加してくれました。広崎、馬水、安永の3仮設で「ましきっ茶」に参加してくれました。仮設住宅の皆さんは笑顔で一緒にクラフトをしたり、シンガポールのゲームで楽しんだりしました。日本からは災害支援の働きのために多くのクリスチャン学生をボランティアとして派遣してくださっているKKGKより九州各地の大学生が共に協力してくれました。言葉や文化の壁を越えて共に仕えていきます！

夏休み企画！クラフト&科学実験

関西学院高等部の高校生達が科学実験や楽しい工作を紹介してくれました。九キ災熊本ベースに地域の子供達が集まって楽しい夏休みの1日を過ごしました。



手作りバッグを持って記念撮影

今年から新たにサポートが始まった惣領仮設で初めての「ましきっ茶」まずは皆さんに九キ災の事を知っていただくよい機会になりました。大人4名子ども3名の参加。編み物をしたり、子どもたちと一緒に缶バッジを作ったり、それぞれに合わせてサポートをしました。子どもたちは可愛いミッキーの缶バッジに喜んでいました！住民の方々のコミュニティサポートの助けになればと思います。

常設「ましきっ茶」

九キ災に関わってくださるボランティアの方が機織り機を使って手芸を教えてくださいました。住民のほとんどの方が初めて触る機織り機。少しずつコツをつかまれて、手編みと違う仕上がりにとても喜んでおられました。



惣領仮設で初めての「ましきっ茶」

「まきび荘避難所」の運営支援

8月中旬より、九キ災看護部山中弓子を倉敷市真備町に派遣し、避難所での働きを担っています。9月となり新学期からの学校再開に向けて避難所が統合整理され、新たな避難所「まきび荘避難所」が立ち上がりました。山中は九キ災の災害看護支援部として、この避難所の運営支援に入っています。今回の運営支援は特定非営利活動法人災害看護支援機構と協働です。地元の保健師、助産師、看護師、行政職員や他諸団体とも連携を図りながら運営支援を行ってまいります。避難所運営は当面、24時間体制です。



まきび荘避難所



栄養と食環境に課題

九キ災看護部 山中弓子

避難されている方にとっては、不自由な避難生活が数カ月も続いています。避難生活が長期化すると炭水化物、塩分、糖分が過剰になりやすく、タンパク質や食物繊維、ビタミン、ミネラル、カルシウム等は不足しやすくなります。高血圧や糖尿病、高脂血症等の生活習慣病を始めとする慢性疾患や血栓症、筋力の低下、骨粗鬆症、循環不全、倦怠感等々のリスクが上がります。高齢の方々や成長期にある子ども達の食環境の問題も懸念されます。熊本地震の際にご縁が繋がったグリーンコープさんが食材を定期的にご提供くださっています。



広島ボランティア with KKGK

九キ災本部長 市来雅伸

広島県呉市の天応地区にボランティアに入りました。土砂が流入した家屋の片付けのお手伝いをしましたが、乾いた砂が一回の天井近くまで到達しており半分程度しか作業は終わりませんでした。まだまだボランティアの必要を感じました。住人の方は「全国から集まってきてくださっていることが嬉しい、このことに何か意味があるように感じる」とおっしゃっていました。ボランティアのお問合せは広島災害対策室まで。



北海道胆振東部地震において被害を受けられた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

九キ災では理事会を開催し、九州の地から何ができるかを検討し、祈りました。9月13日より中村陽志理事を派遣し、ホクミン本部、富川ベースなど被災地の視察及び被災地の教会を訪問しました。今後の連携についても協議していきたいと考えています。「私も2年前に感じた、頑張らなければという思いと、喪失感と虚無感。神様がその思いに寄り添ってくださるように祈るばかりだ」～中村理事より

